

経営比較分析表（平成29年度決算）

神奈川県横浜市 脳卒中・神経脊髄センター

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	300床以上～400床未満	その他
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	10	-	ドI訓	救 臨
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
3,737,845	38,737	非該当	7：1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪審判病院

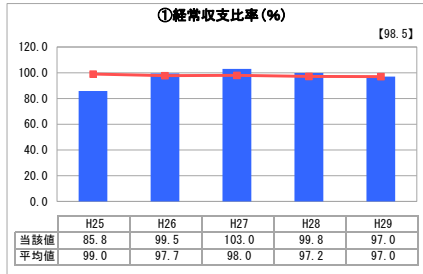
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
300	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	300
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
300	-	300

グラフ凡例

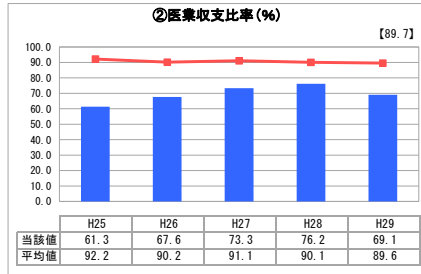
- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）

【】 平成29年度全国平均

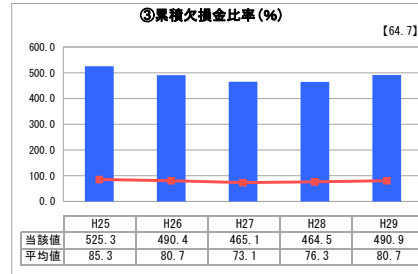
1. 経営の健全性・効率性



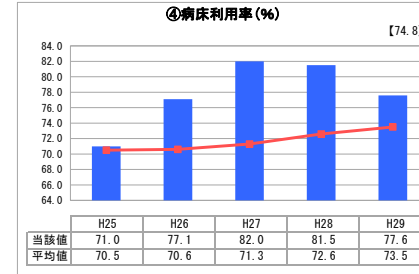
「経常損益」



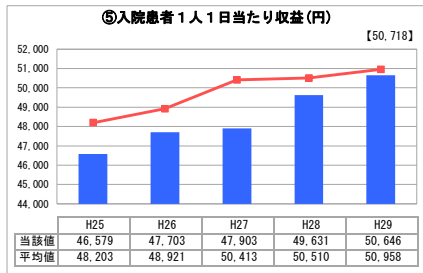
「医業損益」



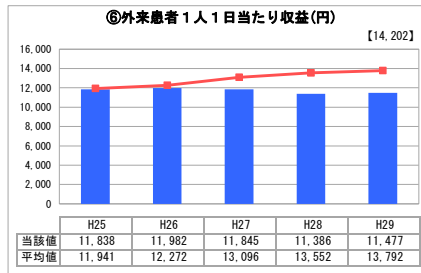
「累積欠損」



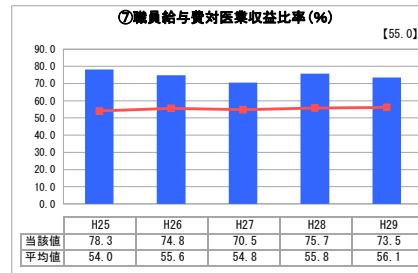
「施設の効率性」



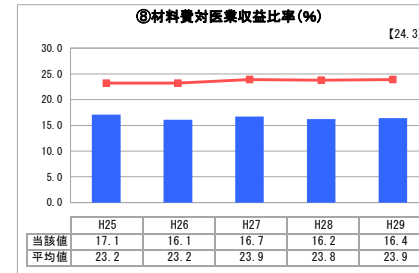
「収益の効率性①」



「収益の効率性②」

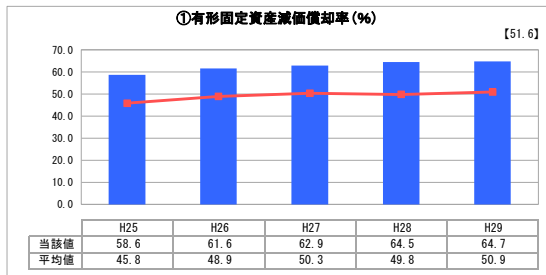


「費用の効率性①」

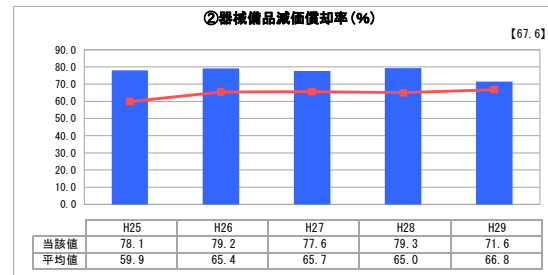


「費用の効率性②」

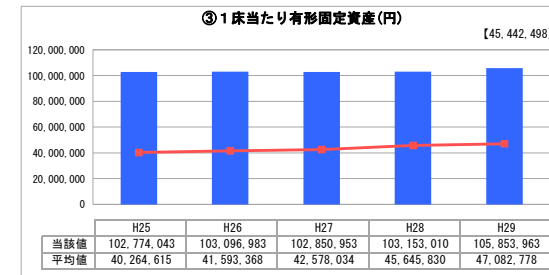
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「器械備品の減価償却の状況」



「建設投資の状況」

I 地域において担っている役割

政策的医療を含む中枢神経全般に対する高度急性期・急性期から回復期までの一貫した医療機能を活かし、「脳卒中」「神経疾患」「脊椎脊髄疾患」「リハビリテーション」の専門病院として先進的な医療と臨床研究に取り組んでいます。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

脳血管疾患に加え、神経・脊椎脊髄分野に診療機能を拡大したことなどにより、平成27年度に経常黒字となりましたが、その後、入院患者数が伸び悩み、平成28年度以降は再び経常赤字となっています。

2. 老朽化の状況について

平成11年開院の施設であり、建物等の設備についてしゅん工から約20年が経過する中、老朽化の影響が少しずつ発生してきています。今後は、適切な修繕計画に基づき、メンテナンスを行っていく必要があります。

全体総括

平成30年から新たに、膝関節疾患にも診療機能を拡充したほか、他病院との円滑な連携により、地域包括ケア病棟や回復期リハビリテーション病棟の利用率向上を図ることなどにより、新規入院患者の確保を行い、経常黒字化を目指します。

※ 「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。